

組立式BOXカルバートをベアリング横引き工法で施工

現場が河川に繋がる流末に近い箇所であるため、4500×3000という比較的大きな断面のボックスカルバートとなりました。

輸送できるサイズとするため、上下2分割した製品を現場で組み立てる組立式ボックスカルバートが採用されました。

また民地との関係で、クレーンで製品を降ろせる場所も限られていたため、レール内の鋼球（ベアリング）の上で製品を移動させる「ボックスベアリング横引き工法」での施工となりました。

工事名：R6秋元川河川改修(1工区)工事

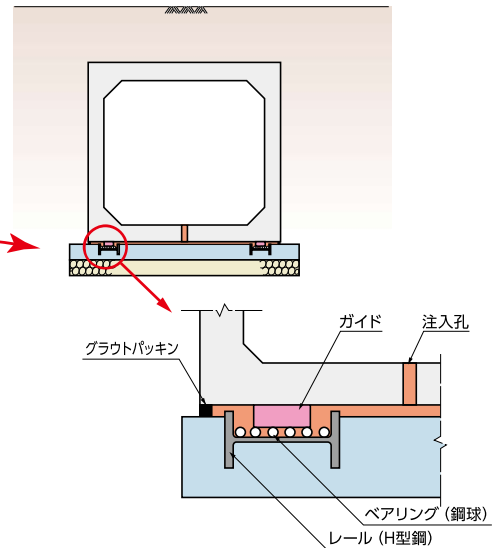
発注者：指宿市役所 都市・海岸整備課

納入場所：鹿児島県指宿市十町地内

担当営業：南薩営業所

SE担当：鹿児島設計技術課

施工延長：47m



ボックスベアリング横引き工法は、鋼矢板とボックスカルバートとのすき間が200mm以上あれば製品を横引きできるので、今回の現場のように狭小なスペースでの施工が可能となります。

